

火災警報器の取り付け方は？ お手入れは？

～設置とメンテナンス～

家のどこに取り付ければいいの？

火災警報器の基本的な取り付け場所は、**少なくとも寝室と、寝室が2階などの場合は階段にも設置が必要とされています。**
(寝室が1階の場合は、1階階段や廊下への設置義務はありません。)
取り付け位置は原則として天井または壁に設置、階段も同様に取り付けます。
まず寝室として使用する部屋、避難経路となる廊下や階段に設置し、必要に応じて他の部屋にも設置すると、さらに安心です。



注意

一般的には、日常の喫煙で作動するようなことはありませんが、火災警報器に直接煙をかけるようなことがあれば、警報を発する場合があります。

設置義務

1階以外に寝室がある場合には、階段にも取り付ける必要があります。

設置義務

火災警報器は、少なくとも住居内の寝室にあたる部屋に取り付けましょう

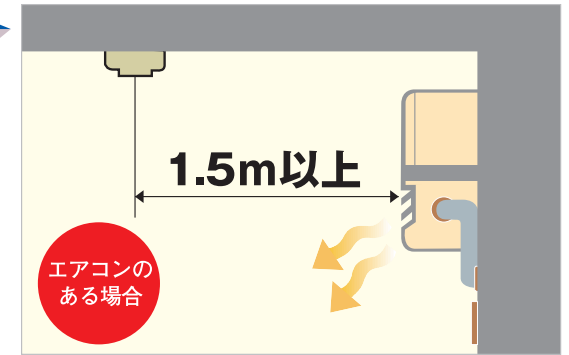
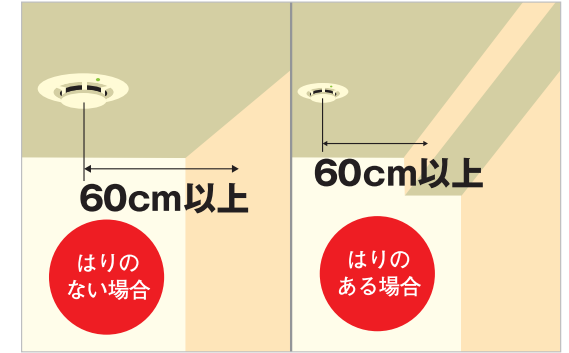


注意

キッチンへ取り付けの場合は調理のときに換気をおこなわないと誤作動の原因となることがあります。
また「煙式」を取り付ける場合には、調理のときに、煙や水蒸気のかからない場所に取り付けるよう、注意しましょう。

《火災警報器の取り付け方（例）》

天井へつけるときは、ここに注意。



壁の取り付けはここがポイント。

